

# 神奈川県青少年科学体験活動

## 推進協議会ニュース

第33号

平成22年12月3日発行

事務局

県立青少年センター

科学支援課

☎045-263-4470

### 生田緑地のうつろい

理事

川崎市青少年科学館

館長 十亀 実



2010年もあと一月ほどで終わりを迎えようとしております。思い起こしてみますと、前半はとても寒い日が続き、そしてあの記録的な猛暑、その後はまたいきなり寒くなり、あまりの気温の変化に体調を崩された方もたくさんいらっしゃったのではないかと思います。まわりでは「今年は春と秋がなかったね」という言葉も良く耳にしました。

このような今年の気象状況は私達の身の回りにくらししている様々な生き物たちにも多くの影響を与えたようです。私が館長をしております「川崎市青少年科学館」のある生田緑地では、ゲンジボタルが棲息しています。ホタルが見られる場所では幼虫を放したり、また、餌となるカワニナをまいたりしているところも多いようですが、生田緑地のホタルは完全に自然の生態系の中で自生しており、多いときには一晩に数十匹が森の中を舞う姿を見ることができます。科学館では、毎年出現期間と個体数を調査していますが、今年は出現が大幅に遅れました。またセミの出現も例年とは違い、特にアブラゼミの鳴き声初聴日も例年に比べ一週間以上も遅れました。寒かった今年前半の影響を直接受けていたことが良くわかります。また、夏にいつも現れるスズメバチが今年は全く見られず、よく見かけるようになったのは9月の半ばを過ぎてからです。そして、いつもはほとんどいなくなっている11月になっても、今年はまだ飛んでいます。これは猛暑の影響を受けたからではないかと考えられます。そして11月前半、生田緑地は紅葉の真っ盛りです。これもいつもとは少し時期がずれ、これからが見ごろとなります。例年ですと四季折々の季節感が感じられる生田緑地ですが、これからの気候の変化とともに生き物たちの様子も変わっていくのかもしれない。

さて、青少年科学館ですが、本格的に改築工事に入っており、川崎の子ども達を中心に美しい星空をご提供させていただいていたプラネタリウム館を一時閉館、約40年の歴史にいったん幕をおろし、現在は仮設のプラネタリウムで投影を行なっています。市民の方の中には「子供のころから親しんでいるので、建物がなくなってしまうのは寂しいね」という声も聞かれましたが、多くの方から新しくなるプラネタリウムと展示室に大きな期待を寄せていただいております。リニューアルオープンは平成24年春ごろの予定です。現在建物を取り壊していますが、土台を撤去すると下から暗灰色の硬い地層が見えてきます。これはこのあたりの地層の基盤となっている上総層群の一部で飯室泥岩層といい、約130万年前から70万年前くらいに堆積した地層です。ショベルカーで次々と掘り返される泥岩の中には化石や有孔虫がたくさん含まれているものがあり、このあたりが昔海だったことを思い起こさせてくれます。

100万年単位の大きな時代の流れから、約40年の青少年科学館の歴史、そして、日々移り変わる生き物たちの営み。さまざまな時の流れを感じる今日この頃です。

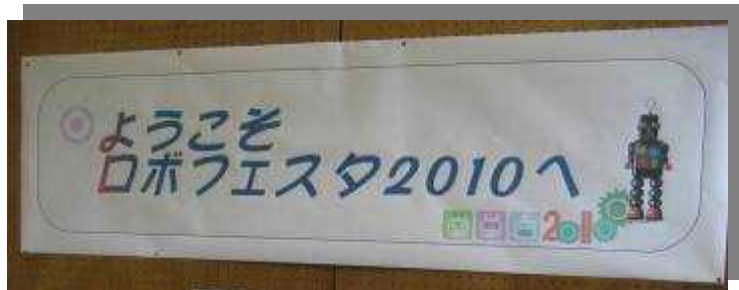


青少年のための

入場者数 428名

# ロボフェスタ2

11月27日(土)青少年センターに於いて開催されました



協議会の団体を含め、企業、大学、高校合わせて18団体の出展がありました。今年はテレビやイベントで人気の有名なロボットの出展もあり、新聞やテレビのニュースでも取り上げられました。



## オープニングセレモニー



主催者を代表して挨拶する  
青少年センター三瓶館長

トランペットのファンファーレ(青少年センター指導者育成課 一戸崇文 演奏)に続いて、  
来賓の神奈川県工業高等学校校長会会長 真壁広道様、  
神奈川県商工労働局産業部産業技術課課長 村井省二様、  
青少年センター三瓶正義館長と一番前に並んでくれた子どもたちの5人によるくす球割

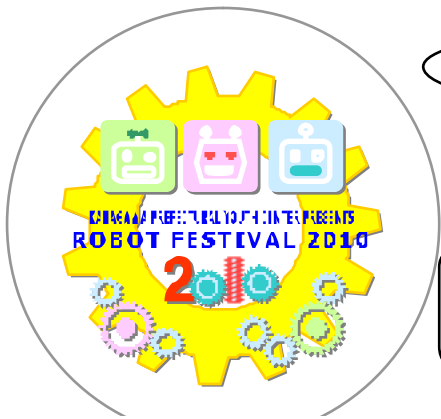


(株)MANO I 企画代表取締役でロボット遊園地代表の岡本正行様とMANO I君による開会宣言に続いて開場前から並んでいた来館者が入場しました。





# スタンプラリー 参加者にはカンバッチ プレゼント



実物大

自分でつくる

カンバッチをつくる子どもたち



## 神奈川工科大学



大阪万博で人気を博した相澤博士の作品「お絵かきロボット」が復活！

製造から約40年が経過した「お絵かきロボット」修復、初披露！輝きを取り戻し、今の子どもたちにも大人気でした。



ノワール君と「ジャンケン ポイ」

## 湘南工科大学



「ロボットと遊ぼう」



ヘビ型ロボットを操縦する来場者

ロボットに触れながら、構造についても丁寧な説明を聞くこともできて、来場者の満足度も高かったようです。



# 青少年のためのロボフェスタ2011

## MANO I 企画



やはりMANO Iは大人気！  
開会宣言からはじまり、踊ったり、お話ししたり、サッカーしたり大忙しでした。

### 県立高校

神奈川工業高校  
向の岡工業高校(全日制)  
藤沢工科高校

川崎工科高校  
向の岡工業高校(定時制)  
生田高校

磯子工業高校  
平塚工科高校  
西湘高校

ジャパンマイコンカーラリー出場ロボットの展示・デモ走行  
全国高等学校ロボット競技大会出場ロボットの展示・実演  
アイデアロボットの展示・実演 「作ってレゴロボ!!」等



「県立高校がこんなに高度な技術があるとは思わなかった」  
「高校生の説明が丁寧で良かった」(来場者アンケートより)  
と評判は上々でした。





## 青少年センター科学部

ネットタンサーロボットで  
遠隔操作を体験しよう!!



宇宙をイメージしたフィールド  
をロボットで探検する体験に子  
どもたちは大喜びでした。

## NEC



「PaPeRo」のまわ  
りには、いつも笑顔が  
いっぱい!  
可愛らしい声と仕草で  
みんなを楽しい気持ちに  
させてくれました。



人の顔を覚えるコミュニケーションロボットとしてテレビでも人気者のPaPeRo

## 千葉工業大学未来ロボット技術研究センター



他の出展者をもうならせたレスキューロボットの完成度  
の高さは、来場者を驚かせました。





# 青少年のためのロボフェスタ2017

## 富士ソフト株式会社



上海万博にも出展した「Palro」を来場者は興味深く見入っていました。



土俵でロボット競技を体験

## 三菱電機株式会社



受付で配ったワークシートに「ロボットはどこで働いていますか？」という質問があり、働くアームロボットブースに解答を教えてもらう子どもたちが多く訪れていました。

丁寧な解説で子どもたちも勉強になったようです。

## フエスト株式会社



ロボットから送られてくる画像を見ながらロボットをコントロール！子どもたちは夢中になっていました。



プログラミングでも動作可能なこのロボットの動きには来場者も興味津々でした。





10月 11月の

# 子ども科学探検隊

日本大学生物資源科学部

10月24日(日)



アトムハウスを実際に見て、わかったことが増えました  
(小学6年女子)



大学がこんなに色々なことをしているなんて知らなかったとても楽しかったです(小学5年女子)



動物の骨の仕組みなどがよくわかりました  
(小学5年男子)

植物を大切にしようと思いました  
(小学6年男子)



生命の星・地球博物館

11月20日(土)



いろいろ知ることができて野外散策が印象に残りました  
(小学5年女子)

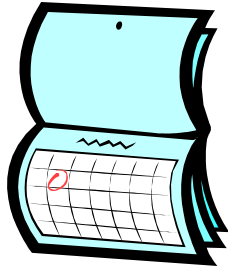
地球の生物を大切にしないといけないと思った  
(小学6年男子)



バックヤードに入れて良かった  
(小学5年男子)

知らない事がいっぱいあってクイズが勉強になりました  
(小学6年女子)





## 今後の日程

12月18日(土) 10時～15時30分  
子どもサイエンスフェスティバル 県央地区大会  
(大和市生涯学習センター)

1月30日(日)  
子どもサイエンスフェスティバル 湘南地区大会  
(藤沢市教育文化センター)



2月11日(祝・金) 10時～15時30分  
子どもサイエンスフェスティバル 県北地区大会  
(相模原市立青少年学習センター)

2月19日(土) 10時～15時30分  
子どもサイエンスフェスティバル 西湘地区大会  
(小田原市生涯学習センター けやき)

2月27日(日) 14時～16時30分  
神奈川県青少年科学作文コンクール表彰式  
(神奈川県立青少年センター)



3月4日(金) 13時30分～15時30分  
神奈川県青少年科学体験活動推進協議会 総会  
(神奈川県立青少年センター)

総会后、講演会と懇親会も予定されております。